イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。

Daiichi-Sankyo

株主通信 Vol.22

2020年11月発行号

バーチャル株主説明会

日時 2021年2月17日(水)
19：30～20：30

詳細は P.8

ご視聴ご希望の株主様の
お申し込みはこちら

P.1 CEOメッセージ
P.3 特集1 第一三共のADC
P.5 特集2 新型コロナウイルス感染症への取り組み
P.7 第15回定時株主総会のご報告
P.8 バーチャル株主説明会のご案内
P.9 2020年度トピックス
P.10 2020年度第2四半期累計 連結業績

第一三共株式会社

証券コード　4568

CEOメッセージ

第一三共の強みを活かして世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献してまいります。

代表取締役社長 兼 CEO 眞鍋 淳（まなべ すなお）

株主の皆様には、日頃よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。まずは、この度、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者をはじめ、感染症の拡大防止、収束に向けて最前線でご尽力をいただいている方々に、改めて深く感謝申し上げます。

第一三共グループは、**世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献すること**こそが社会における**存在意義**であると考えています。この存在意義を果たしていくために、当社グループは、革新的医薬品を継続的に創出し、いまだに有効な治療方法や薬剤がない医療へのニーズ（アンメットメディカルニーズ）を満たしていくことを最重要課題としています。

世界的に急務とされている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対策では、全社横断的に推進するタスクフォースを立ち上げ、当社が誇る**サイエンス&テクノロジー**の強みを最大限に活かしてワクチンおよび治療薬の研究開発を進めるべく、全社一丸となって取り組んでいます。さらに、COVID-19との同時流行（ツインデミック）への懸念から重要性が増している季節性インフルエンザワクチンの増産・供給にも対応しております。

第一三共の存在意義

世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

持続的成長に向けて

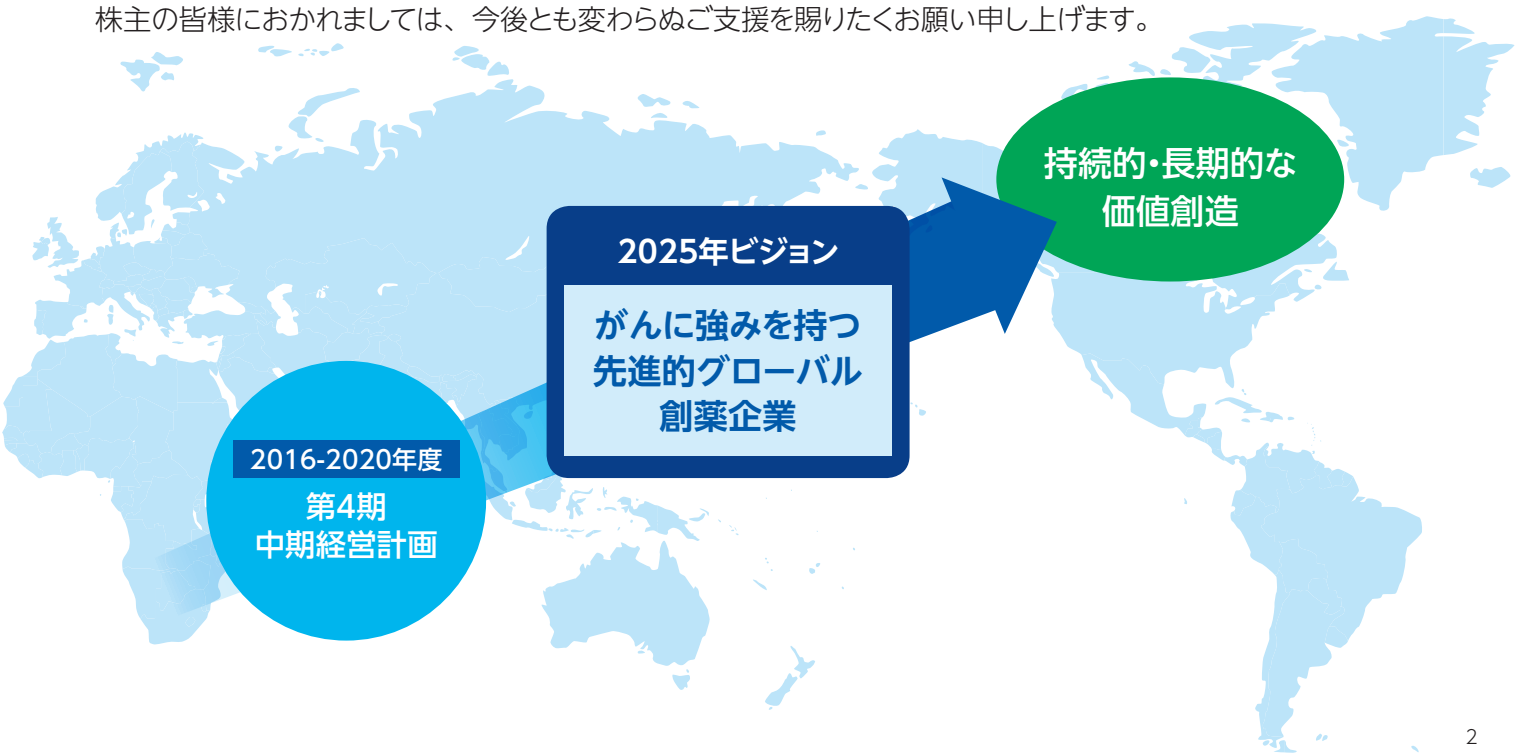
当社グループは、アンメットメディカルニーズへの対応に加えて、高品質な医薬品の安定供給、医療アクセスの向上、コンプライアンス経営や環境経営の推進等、社会から多様な要請を受けています。その要請に応えるため、財務、製造、人的資本等のさまざまな経営資源と、当社独自の強みである「**サイエンス&テクノロジー**」、「**グローバル組織&人材**」、「**日本でのプレゼンス**」を活かして事業活動に取り組んでいます。革新的な医薬品を生み出し、患者さんにお届けすると同時に、社会・環境問題等の持続可能性(サステナビリティ)に直結する課題に取り組み、**社会の一員としての責任や義務**を果たしていくことで、社会とともに**持続的に成長**していくことを目指しています。

2025年ビジョンと中期経営計画

私たちは、目指すべき企業の姿として、**「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」**を**2025年ビジョン**に掲げ、その実現に向けて第4期中期経営計画(2016～2020年度の5ヵ年計画)を策定しました。この第4期中計期間の最大の成果は、2020年に米国と日本においてHER2陽性乳がんの3次治療の適応で**エンハーツ**(一般名:トラスツズマブ デルクステカン、開発コード:DS-8201)を**新発売**し、患者さんへの貢献を開始したことです。このエンハーツをはじめ、当社独自の技術を用いた抗体薬物複合体(ADC)の順調な開発および商業化の進展により、当社グループのがん領域における専門性や組織力は急速に向上しており、2025年ビジョンの実現の目処はついたと考えています。

現在、2025年ビジョンの実現を確実にするための**第5期中期経営計画**(2021～2025年度の5ヵ年計画)を**策定**しています。詳細については、2021年3月から4月にかけてお示しする予定ですが、その計画の柱は、3つのADC(エンハーツ、DS-1062 、U3-1402)の製品価値最大化と、持続的成長を実現するための新薬候補パイプラインおよび製品ポートフォリオの強化の2つです。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。



特集1 第一三共のADC －2025年ビジョン達成に向けたがん事業への取り組み－

当社グループは、がんに強みを持つグローバル創薬企業となることを2025年ビジョンに掲げて取り組んでいます。10年以上の年月をかけて生み出した第一三共のADCは、刻々と進化しているがん治療において、新たな可能性を切り開くものとして期待されています。

ADC：抗体薬物複合体

ADC（抗体薬物複合体）は、**抗体医薬品**と**化学療法剤**を組み合わせてできる薬剤です。がん細胞に**選択的に結合する抗体**に、がん細胞を**強力に攻撃する薬物**を合わせることで、両者それぞれの弱みを補い、強みをさらに伸ばします。第一三共は、既存のADCが持つ課題の克服を目指して研究を重ね、**独自の特長**を持つADCを生み出しました。

エンハーツ：トラスツズマブ デルクステカン／DS-8201（抗HER2-ADC）

■ いよいよ発売

HER2（ハーツー）領域での治療をEnable（可能にさせる）や Enhanceする（さらに高める）ことをイメージして命名された**エンハーツ®（ENHERTU®）**は、**2020年1月に米国**で、**5月には日本**でHER2という抗原が発現している（HER2陽性）乳がんの3次治療薬として**発売**しました。欧州でも、7月に同適応で承認申請が受理され、販売承認を待っています。

さらに、9月には、がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発**胃がん**に対しても効能又は効果、用法及び用量追加の**国内承認**を取得しました。エンハーツは、がん領域における当社グループ初のグローバル製品です。その**潜在価値**は従来想定よりもさらに高まっており、今後の**成長を牽引**する最重要製品に位置づけています。

■ 適応症の拡大に向けて

さらなる適応症拡大に向けた臨床試験については、アストラゼネカ社との協働体制のもと、単剤・各種抗がん剤との併用療法を含め、当初の17試験から**43試験**に試験数を増やして取り組んでいます。

DS-1062（抗TROP2-ADC）

第一三共のADCの中で、エンハーツに続いて開発が進んでいる**DS-1062**については、肺がんや乳がん等さまざまながん種において**革新的な医薬品**になることを期待しています。現在、手術不能な進行・転移性の非小細胞肺がんとトリプルネガティブ乳がんを対象とした第1相臨床試験を日本と米国において実施しています。

製品価値を最大化する戦略的提携

当社独自の技術を使って創製された2つのADCの価値最大化を図るため、がん領域の事業において豊富な経験を持つ**アストラゼネカ社**と**グローバル開発及び商業化に向けた契約**をそれぞれ締結しました。

この戦略的提携により、エンハーツとDS-1062をより早く、より多くのがん患者さんに届けることが可能になると考えます。今後は、開発加速による両剤の**価値最大化**を図るとともに、もうひとつのADCの柱である**U3-1402**を含む後続のプロジェクトに研究開発費や人的リソースを配分して**さらなる成長**を図ってまいります。

第一三共株式会社 ＆ AstraZeneca

◆ 提携の概要

開発	◆単剤・併用療法を共同開発 ◆開発費用を折半	
製造	◆当社が製品を製造、供給	
販売	日　本	当社が単独販売し、アストラゼネカ社にロイヤルティを支払う
	日本以外	両社が共同販促し、損益を折半

◆ 受領対価

（1ドル=110円換算）

	エンハーツ	DS-1062
契約年月 （契約時開発ステージ）	2019年3月 （フェーズ2）	2020年7月 （フェーズ1）
契約時一時金	1,485億円	1,100億円
開発マイルストン（最大）	4,180億円	1,100億円
販売マイルストン（最大）	1,925億円	4,400億円
最大総額	**7,590億円**	**6,600億円**

2020年5月米国臨床腫瘍学会（ASCO）や9月の欧州臨床腫瘍学会（ESMO）等での発表データ（安全性・有効性等）については、当社ホームページのIRライブラリをご覧ください。

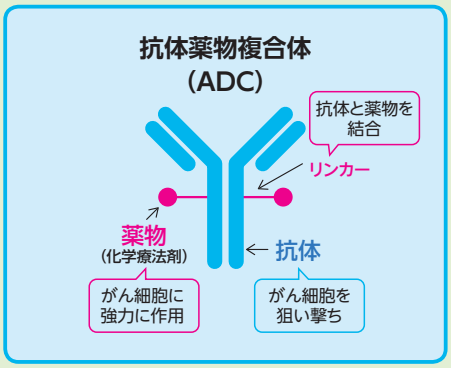
WEB 第一三共　IRライブラリ　検索

ADC基礎知識

化学療法剤は、がん細胞への作用は強力ですが、一部の正常細胞にも影響を及ぼし、副作用が強いという問題がありました。一方、近年登場した抗体医薬品は、がん細胞を狙い撃ちできるため比較的副作用が少ない長所がありますが、薬効が不十分な場合もあります。

両者を合体させることで、互いの弱みを補い、強みをさらに伸ばすことを目的に作られたのが、抗体薬物複合体（ADC）です。

ADCでは、薬剤をさまざまな抗体と組み合わせることが可能です。



特集2 新型コロナウイルス感染症への取り組み

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界中で猛威を振う中、当社グループではサイエンス&テクノロジーの強みとワクチン事業基盤を持つ製薬会社として、外部組織とのコラボレーションも活用しながら、社会的に急務となっているCOVID-19のワクチンおよび治療薬の研究開発を進めています。

新型コロナウイルスとの戦い

■ ワクチンの研究開発

◆ 海外ワクチンの国内における供給

アストラゼネカ社と英国オックスフォード大学が開発中の新型コロナウイルスワクチンに関して、**国内における製剤化**等について、同社と協議を進めています。製剤化は、当社子会社の第一三共バイオテックが原液供給を受けて実施する予定です。

第一三共バイオテック　北本工場

◆ ワクチンの自社開発

日本医療研究開発機構が支援する「新型コロナウイルス(2019-nCoV)の制圧に向けての基盤研究」に参画し、当社が見出した新規核酸送達技術を用いた**遺伝子(mRNA)ワクチン(DS-5670)**の開発を進めています。最優先プロジェクトの1つとして、**2021年3月頃**の**臨床試験開始**を目指しています。供給体制の整備には、2020年8月に採択された厚生労働省の「ワクチン生産体制等緊急整備事業(第1次公募)」も活用し、DS-5670を一日でも早く人々にお届けできるよう開発を加速してまいります。

■ 治療薬の研究開発

2020年6月、東京大学、理化学研究所および日医工株式会社と共同で**ナファモスタット吸入製剤**の研究開発を実施するための基本合意書を締結しました。東京大学医科学研究所は、ナファモスタット*がウイルスの侵入過程を効率的に阻止する可能性がある薬剤であることを見出しました。当社では、抗インフルエンザウイルス剤「イナビル」の開発で得た技術を活かし、ナファモスタットの吸入製剤化を目的とする研究開発を進め、**2021年3月**までの**臨床試験移行**を目指しています。

*ナファモスタット：急性膵炎や播種性血管内凝固症候群等の治療薬として処方されている注射剤

■ ドラッグリポジショニング(既存薬の転用)

当社既存品を対象にCOVID-19治療への**応用可能性**を評価するとともに、過去および現在の研究開発プロジェクトの**知見からヒント**を見出し、COVID-19治療薬の標的分子や化合物の**候補を選抜**する取り組みを外部組織とのコラボレーションも活用しながら実施しています。

事業の継続性と従業員の安全を確保

■ 医薬品の安定供給

COVID-19の影響下においても、さまざまな疾患と戦う患者さんが医薬品を待つ状況に変わりはありません。製薬企業としての使命を全うするべく、感染防止策を講じつつ**生産活動を継続**し、**安定供給**を実現しています。

■ 医療機関への情報提供

医薬品情報の提供・収集を行うMR活動は、**ウェブ面談ツール**も活用しながら、医療機関の先生方に**必要**な情報や**重要**な情報を**正確に提供**するように努めています。

■ 臨床試験の継続

くすりの有効性や安全性を確認する臨床試験については、**患者さんの安全を第一**に考え、各国の薬事規制当局からの通知や実施地域・施設の状況を踏まえ、さらに医療機関の負担軽減を考慮して継続しています。投薬中の患者さんについては、さまざまな関係者と協働し、**安全確保を最優先**しながら投与の継続を図っています。

■ 従業員の安全確保

従業員の感染防止に向けては、電子情報の取り扱い体制の整備・強化を進めつつ、**テレワーク(在宅勤務)**ができる対象者の範囲拡大や**オンライン会議**システムの拡充、さらに1日400～500件に及ぶ医療従事者等からのお問合せに担当者が在宅ベースで対応できる**システムの構築**等、さまざまな観点から安全措置を講じました。一方、医薬品の安定供給に向けてフル稼働が続く工場等においては、通常通り出社する従業員が**安全**にそして**安心して**働ける環境の整備を進めました。

これまで経験したことのない生活環境や業務環境にストレスを感じる従業員への**心身ケア**やリモートでの**業務管理**を含むマネジメント研修も実施しながら、新たな形で業務に励む従業員の安全確保に努めています。

おうち時間を健康に過ごすためのお役立ち情報

高齢者生活サポートサイト　ずーっとすこやか!

感染拡大防止のため外出を自粛されている方も多くいらっしゃることと存じますが、ご高齢の上に「動かないこと」が長く続くと、フレイル(虚弱)という要支援・要介護の危険が高まります。当社ホームページでは、外出を自粛されている高齢者がご自宅で健康に過ごすためのお役立ち情報を発信しています。高齢者とそのご家族・介護をされている方はもちろん、外出自粛や在宅勤務で運動が不足しがちな方々も、ご自宅での生活の工夫、気をつけたいポイント等について、お役立てください。

WEB　第一三共　高齢者生活サポート　検索

はじめに　おうちで出来る運動　おうちでお手軽料理　おうちで過ごす注意点

第15回定時株主総会のご報告

2020年6月15日、ロイヤルパークホテル(東京都中央区)にて、第15回定時株主総会を開催しました。インターネット・書面による事前の議決権行使を通じたご参加を含め、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた株主の皆様のご協力のもと、無事に報告事項をご報告し、決議事項のご審議をいただくことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

質疑応答では、ご来場の株主様からエンハーツの実績と今後の見通しやがん治療ウイルスの開発状況、高薬価に関する考え方、新型コロナウイルス治療薬やワクチンの研究開発、また、臨床現場への誠実かつ適正な情報提供活動等、非常に幅広い視点からご質問とご発言をいただき、出席役員からご回答申し上げました。その答弁を含む当日の議事進行の様子は、ご説明ナレーション付の事業報告動画と共に当社ホームページで公開しております。是非、ご覧ください。

WEB 第一三共　株主総会　検索

株主総会終了後の取締役会において、社外取締役の宇治則孝氏が取締役会議長に就任しました。

取締役会議長からのメッセージ

今回、取締役会議長に就任することになり、初めての社外役員の議長として重責を感じています。これまでの当社での経験も活かし、「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」の実現というビジョンの達成に貢献したいと思っています。

今日の取締役会においては、経営の重要事項の決定機能とともに、執行の監督機能、モニタリング機能が重要であり、今回、議長の選任にあたっては、コーポレートガバナンス強化の観点から執行と監督の分離や経営の透明性という視点がポイントになったと理解しています。

当社の取締役会は従前から「取締役会評価」によりその実効性は確認されていますが、今後の運営にあたっては、株主様のご期待に応えるべく、執行側との充分な意見交換を図るとともに、社外の視点も活かしつつ、取締役会がさらに充実・活性化し、第一三共の企業価値が持続的に向上するよう努力していく所存です。

今年は、議長として、コロナ後の将来も見すえた次期中期経営計画についての充分な議論や、第一三共の強みを活かしたESGやSDGsへの取り組み等についても注視していきたいと思います。

取締役会議長 **宇治 則孝**

バーチャル株主説明会のご案内

毎年2月に開催しております株主説明会には、多くの株主様にご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全国どこからでも、インターネットを通じてご参加いただける「バーチャル株主説明会」といたします。ライブ形式で当社の現況と成長戦略について、社長の眞鍋からご説明申し上げた後、株主の皆様からのご質問にお答えいたします。

参加ご希望の株主様は、下記の**株主通信「ネットでアンケート」**から株主番号とメールアドレスをご登録ください。

お申込み期限：2021年1月11日(月)

ご登録のメールアドレスに株主説明会へのログイン情報を、ご連絡申し上げます。

開催概要

開催日時	2021年2月17日(水) 19:30～20:30
内容	第一三共の現況と成長戦略
スピーカー	代表取締役社長 兼 CEO　眞鍋 淳
お申込み	株主通信「ネットでアンケート」から株主番号と連絡先メールアドレスをご登録ください。後日、ログイン情報をご連絡します。

ご参加の流れ(株主様限定)

●株主説明会についてのお問合せ

お電話　03-6225-1125(第一三共IRグループ)
受付時間 8：45～17：30
(土日・祝祭日ならびに当社休日を除く)

●株主通信「ネットでアンケート」についてのお問合せ

メール　kabu@takara-print.co.jp
※平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問合せに関しては翌営業日の回答になります。

株主通信「ネットでアンケート」　株主説明会のお申込みもコチラから

下記URLまたはQRコードから、アンケートにご回答ください。【回答期限：2021年1月11日(月)】
株主説明会のお申込みも、こちらから株主番号とメールアドレスをご登録いただくことで、完了いたします。

ネットでアンケート
Provided by TAKARA Printing

●アクセス方法

パソコンから
右記URLからアクセスください。https://q.srdb.jp/4568/

スマートフォン・携帯電話から
QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスください。

いつも株主様アンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。株主様からいただいたご意見を参考に、今回の株主通信記事選定や、株主総会当日映像の公開範囲拡大等を行いました。
これからも、株主の皆様のお声を当社IR活動に活かしてまいります。

「ネットでアンケート」は宝印刷株式会社が運営し、ご回答いただいた内容は宝印刷株式会社および委託元である第一三共株式会社が管理いたします。

【個人情報の取り扱いに関して】
お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、宝印刷株式会社におきましては「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的としてのみ利用します。個人が特定できる形で使用し、または事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。第一三共株式会社におきましては、「株主説明会の参考情報とすることおよび今後の株主通信の企画・構成、その他株主様への情報伝達内容の改善等に役立てること」を目的として利用します。

2020年度トピックス

4月
- 2019年度 決算発表

5月
- 抗悪性腫瘍剤「エンハーツ®」 1月の米国新発売に続き、国内でも新発売
  適応 「化学療法歴のあるHER2陽性の手術不能又は再発乳癌(標準的な治療が困難な場合に限る)」

乳がん

6月
- 第15回定時株主総会 P.7

7月
- トラスツズマブ デルクステカン(日米製品名:エンハーツ®) 欧州における販売承認申請受理
- DS-1062に関するアストラゼネカとのグローバル開発および販売提携 P.4
- 2020年度 第1四半期決算発表

乳がん

8月
- 厚生労働省「ワクチン(DS-5670)生産体制等緊急整備事業(第1次公募)」公募採択
- 日本医療研究開発機構「COVID-19に対するワクチン(DS-5670)開発」 公募採択

9月
- 抗悪性腫瘍剤「エンハーツ®」効能又は効果、用法及び用量追加の国内製造販売承認取得
  適応 「がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌」

胃がん

10月
- 株式分割および定款の一部変更の効力発生
- 抗悪性腫瘍剤「エンハーツ®」効能又は効果、用法及び用量追加の米国承認申請受理
- 日本イーライリリーが偏頭痛に係る適応で申請中のガルカネズマブに関する国内販売提携
- 2020年度 第2四半期 決算発表 P.10

胃がん

11月
- 自己株式取得開始(総額1,000億円あるいは6,000万株が上限)

12月
- バーチャルR&D説明会 「R&D Day2020」開催(予定)

2021年 1月
- 2020年度 第3四半期 決算発表(予定)

2月
- バーチャル株主説明会開催(予定) P.8

3月

詳細情報は、当社ホームページをご参照ください。

WEB 第一三共 検索

第一三共ホームページが新しくなりました。

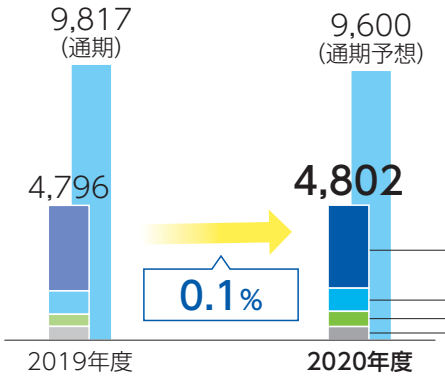
第一三共の実際の活動ストーリーもご紹介しています。
私たちのイノベーションへの情熱、ひとへの思いに触れてください。

社員「一人ひとり」が最大限能力を発揮できる職場環境を

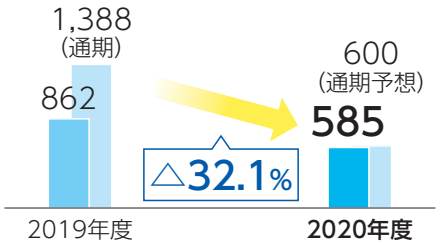
「人」を大切にすることから生まれる第一三共のR&Dカルチャー

2020年度第2四半期累計 連結業績

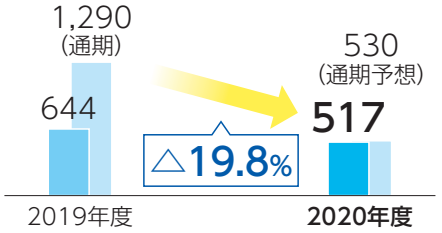
■売上収益



■営業利益



■当期利益(親会社帰属)



■主要製品 売上推移

(単位:億円)

	2019年度 第2四半期 累計	2020年度 第2四半期 累計	増減率
日本			
国内医薬事業	**2,610**	**2,501**	△4.2%
ネキシウム (抗潰瘍剤)	402	390	△3.1%
リクシアナ (抗凝固剤)	418	383	△8.4%
プラリア(骨粗鬆症治療剤・関節リウマチに伴う骨びらんの進行抑制剤)	154	170	9.9%
メマリー (アルツハイマー型認知症治療剤)	257	149	△42.2%
テネリア (2型糖尿病治療剤)	128	124	△2.6%
ロキソニン (消炎鎮痛剤)	148	123	△16.9%
ランマーク (がん骨転移による骨病変治療剤)	92	97	5.3%
タリージェ (疼痛治療剤)	33	91	177.3%
エンハーツ (抗悪性腫瘍剤:抗HER2-ADC)	—	10	—
第一三共エスファ品目(ジェネリック医薬品)	314	342	9.1%
ワクチン事業	158	107	△32.4%
第一三共ヘルスケア(OTC医薬品)	**341**	**330**	△3.0%
米国			
第一三共Inc.	**149**	**235**	57.9%
エンハーツ (抗悪性腫瘍剤:抗HER2-ADC)	—	113	—
オルメサルタン(高血圧症治療剤)	55	55	△1.1%
アメリカン・リージェントInc.	**683**	**589**	△13.7%
インジェクタファー(鉄欠乏性貧血治療剤)	260	210	△19.4%
ヴェノファー (鉄欠乏性貧血治療剤)	164	146	△10.8%
欧州			
第一三共ヨーロッパGmbH	**432**	**543**	25.7%
リクシアナ (抗凝固剤)	275	350	27.4%
オルメサルタン (高血圧症治療剤)	112	110	△1.5%
その他			
アジア/中南米(ASCA)	490	484	△1.2%

2020年度第2四半期累計の売上収益は、エンハーツやリクシアナ等のグローバル主力品の伸長に加え、アストラゼネカ社とのDS-1062に関する戦略的提携に係る契約時一時金の収益計上があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、国内における薬価改定やワクチン販売提携の終了等により、前年同期並みとなりました。

営業利益は、販売製品の構成比の変化に伴い売上原価率が改善したものの、エンハーツに係る販促費用やがんプロジェクトの開発体制強化に伴う研究開発費用が増加したこと等から減益となりました。当期利益が営業利益に比べて小幅な減益となっているのは、為替差損益による金融収支の改善等が影響しています。

<通期業績予想の下方修正について>

エンハーツやタリージェが順調に売上を伸ばしているほか、DS-1062の戦略的提携に伴う契約時一時金の繰延収益を計上する一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診抑制やインバウンド需要消失等による売上減少、加えてエンハーツ等の臨床開発が計画以上に進捗していることに伴う研究開発費用の増加等もあり、2020年度通期予想の下方修正を決定しました。

これにより、売上収益9,600億円(対前回予想△1.0%)、営業利益600億円(同△25.0%)、親会社帰属の当期利益530億円(同△5.4%)を見込んでいます。

連結財政状態計算書等を含む決算短信や補足資料のほか、決算経営説明会の動画等、
より詳細な情報を当社ホームページ上でご覧いただけます。

WEB 第一三共 決算 検索

株主還元方針

2016年度から2022年度で、普通配当と機動的な自己株式の取得により、総還元性向*2を100%以上とする方針です。

*1 株式分割前基準
*2 総還元性向=(配当金の総額+自己株式取得総額)／当期利益(親会社帰属)

普通配当 年間70円*1 以上 ＋ 機動的な自己株式取得 ➡ 総還元性向*2 100%以上

2020年度の株主還元施策

■株式分割

2020年9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、普通株式**1株を3株に分割**しました。投資単価が下がることで、投資家層の拡大が期待されます。

株式分割前	株式分割後
2020年9月30日まで	2020年10月1日から
1株	3株（1株 1株 1株）
権利付最終日株価 9,846円	分割後初日終値 3,273円

分割後の株数については、証券会社等の株式管理口座または10月末に株主名簿管理人よりお届けした割当通知書でご確認頂けます。

■2020年度配当金

株式分割前基準での年間配当金は、1株あたり70円から81円と、**11円の増配**となる見込みです。

2019年度		2020年度	
中間配当	期末配当	中間配当	期末配当（予想）
35円	35円	40.5円	13.5円
			13.5円
			13.5円
合計 70円		合計 81円	

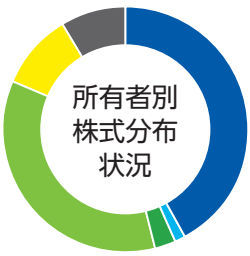
■自己株式取得

株主還元の充実とともに資本効率の向上をはかるため、2020年11月2日から2021年3月23日を期限として、市場買い付けにて総額1,000億円あるいは6,000万株を上限として**自己株式の取得を実行中**です。

企業インフォメーション（2020年9月30日現在）

商号	第一三共株式会社
資本金	500億円
従業員数	15,878名(連結)
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当基準日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
公告の方法	電子公告により行います。

株主数　66,223名



金融機関	42.19%
金融商品取引業者	1.31%
その他の法人	2.64%
外国法人等	35.40%
個人その他	9.92%
政府及び地方公共団体	0.00%
自己株式	8.53%

株主名簿管理人・特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
TEL 0120-232-711(通話料無料／受付時間9:00～17:00 土日祝日を除く)

第一三共株式会社
〒103-8426 東京都中央区日本橋本町三丁目5番1号
コーポレートコミュニケーション部
TEL 03-6225-1125(株主・投資家専用ダイヤル)

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
UD FONT by MORISAWA 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。